

2019年4月1日

一般社団法人 日本広告業協会

## 第六回

# 広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞

## - (JAAA若手大賞) -

### 審査結果発表

一般社団法人 日本広告業協会（理事長 成田純治・㈱博報堂 取締役相談役）主催による、第六回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 - (JAAA若手大賞) -」は、1月9日に本賞実行ワーキンググループによる審査会にて大賞、優秀賞のコミュニケーションを選出し、3月10日開催の第310回理事会において承認、決定した。

当協会 ビジョン小委員会は、会員各社の若手社員20名からなる実行ワーキンググループを組織し、その運営のもと、募集・審査を実施した。

本賞は、①業界の若手による推薦・応募・選考・運営（推薦者の要件は会員各社の30歳未満の社員）、②対象となるのは、「人を動かす仕掛け」が含まれていて、「課題があり、これを解決する」という構図とその「結果」が明確な「コミュニケーション」で、従来の広告でないコミュニケーションも対象、③推薦者（応募者）がかかわっていない施策でも応募が可能、という点を特徴とする。応募から審査まで若手に制限することで、新しい感性や発想を、広告業界に新風として取り込んでいくことを意図している。

第六回の応募総数196件の中から大賞1件、優秀賞5件を選出した。

第六回大賞の「Braille Neue（ブレイル ノイエ）」は、晴眼者（いわゆる視覚障害のない人）が使う墨字と、視覚障がい者が使う点字が一体となった、目でも指でも読めるユニバーサルな書体の制作、普及を行なっていくプロジェクトで、視覚障がい者と晴眼者が同じツールを使い、同じ場所で同じ情報を共有することで、新しいコミュニケーションを生み出そうという試みである。1964年の東京オリンピックで、日本が世界にピクトグラムを広めたときのように、2020年に向けて東京にBraille Neueを実装し、インクルーシブなデザイン文化の発信を目指している点が大きく評価された。

なお、大賞、優秀賞、最終選考に残ったファイナリストは、会報JAAA REPORTS 4月号の特集「第六回『広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞』審査結果発表」及び当協会ホームページ（<http://www.jaaa.ne.jp>）で紹介する。

【お問い合わせ】一般社団法人 日本広告業協会  
事務局担当 小田 崇介  
電話 03-5568-0876

## 第六回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞

- (JAAA若手大賞) -

### 審査結果発表

#### ◆ 大賞 「Braille Neue (ブレイル ノイエ)」

コミュニケーションの主体：高橋 鴻介 氏 (電通)

推薦者：大久保 雅英 氏 (I&S BBDO)

#### ◆ 優秀賞 別府温泉 「Go! 草津」

コミュニケーションの主体：別府市

推薦者：滝澤 暢之 氏 (博報堂)

#### ◆ 優秀賞 漫画『100万の命の上に俺は立っている』ワケあり無料版

コミュニケーションの主体：講談社、電通

推薦者：入江 晋太郎 氏 (ENJIN)、清水 香奈衣 氏 (ジェイアール東日本企画)、  
宮本 雄生 氏 (読売広告社)

#### ◆ 優秀賞 おくる福島民報

コミュニケーションの主体：福島民報社

推薦者：古橋 章吾 氏 (I&S BBDO)

#### ◆ 優秀賞 #PUPPY NEW YEAR

コミュニケーションの主体：NPO法人 犬と猫のためのライフポート、アドビシステムズ、  
東急エージェンシー

推薦者：日野 紗和 氏 (東急エージェンシー)、山田 将平 氏 (東急エージェンシー)、  
中沢 渉 氏 (モメンタム ジャパン)

◆ 優秀賞 炎上シミュレーションゲーム「大炎笑」

コミュニケーションの主体：博報堂『広告』編集部 大炎笑制作委員会

推薦者：上野 冠 氏（ジェイアール東日本企画）

◆ ファイナリスト 未来レストランいぶき

コミュニケーションの主体：宇宙航空研究開発機構（JAXA）、地球をみまもるプロジェクト、

ADK CSRプロジェクト

推薦者：池上 亮太 氏（ADKマーケティング・ソリューションズ）、

清水 麻由 氏（ADKマーケティング・ソリューションズ）

◆ ファイナリスト 港の猫とおばあちゃんプロジェクト

コミュニケーションの主体：Yaika factory

推薦者：桑嶋 剛史 氏（博報堂）

※ファイナリストは最終審査に残った施策を指します

※推薦者の所属は応募時点

以 上